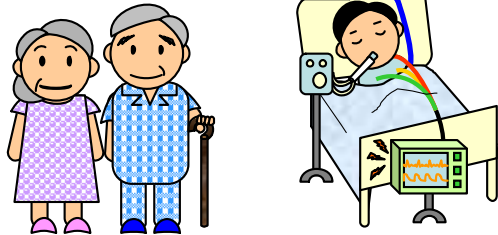
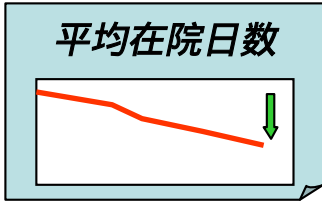


**看護師の基礎教育は  
これでいいのか?!**

# 医療施設の現状

患者さん

入院期間の短縮



高齢化

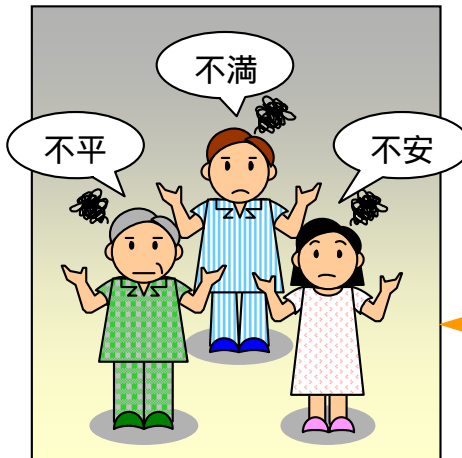
重症化

看護職



ヒューマンエラー  
システムエラー

医療事故



# 病院に就職した新人看護職員の 離職率は

**9.3% !**



看護師の11人に1人が離職

看護師学校養成所140校分に相当

# 新卒看護職員の仕事を続けていく上での悩み

複数回答 上位4位

1	配置部署の専門的な知識・ 技術が不足している	76.9%
2	医療事故を起さないか 不安である	69.4%
3	基本的な技術が 身についていない	67.1%
4	ヒヤリハット(インシデント) レポートを書いた	58.8%

日本看護協会 2004年 新卒看護職員の早期離職等実態調査

# 新卒看護職員の職場定着を 困難にしている要因

複数回答 上位3位

		病院調査 (n=1219)	学校調査 (n=436)
1	看護基礎教育終了時点の能力と看護現場で求められる能力のギャップ	76.2%	80.3%
2	現代の若者の精神的未熟さや弱さ	72.6%	76.4%
3	従来に比べ看護職員に高い能力が求められている。	53.3%	47.0%

日本看護協会 2004年 新卒看護職員の早期離職等実態調査

©日本看護協会 政策企画部

# 早期離職理由の背景

新卒看護師の7割以上が  
「入職時1人でできる」と  
認識している技術は  
103項目のうちわずか4項目

日本看護協会 2002年

「新卒看護師の看護基本技術に関する実態調査」より

# 新卒看護師の7割以上が 「入職時一人でできる」と認識している技術

(上位より4項目)

基本的なベッドメイキング	81.2%
基本的なリネン交換	75.7%
呼吸・脈拍・体温・血圧を正しく測定	74.7%
身長・体重を正しく測定	72.0%

日本看護協会 2002年

「新卒看護師の看護基本技術に関する実態調査」より

# 早期離職理由の背景

新卒看護師の7割以上は  
入職後3ヶ月経過しても  
基本となる看護技術103項目のうち  
68項目を1人で実施できない

日本看護協会 2002年  
「新卒看護師の看護基本技術に関する実態調査」

# 入職後3ヶ月経過しても7割以上の 新卒看護師が「一人で実施できない」技術

(「できる」と回答した割合の低いものより抜粋)

1	骨髄穿刺の説明と検査の介助	6.2%
2	除細動機器の準備と必要性の把握	6.3%
3	呼吸機能検査の説明と検査時の援助	6.9%
4	気管支鏡検査の説明と検査時の援助	7.3%
5	気管内挿管の準備と介助	7.5%
6	疾患別の食事指導	7.5%
7	人工呼吸の準備と方法	9.8%
8	腰椎穿刺の説明と検査の介助	11.2%
9	ストーマケア	11.6%
10	心臓マッサージ	12.1%
11	止血の介助	14.0%

日本看護協会 2002年「新卒看護師の看護基本技術に関する実態調査」より

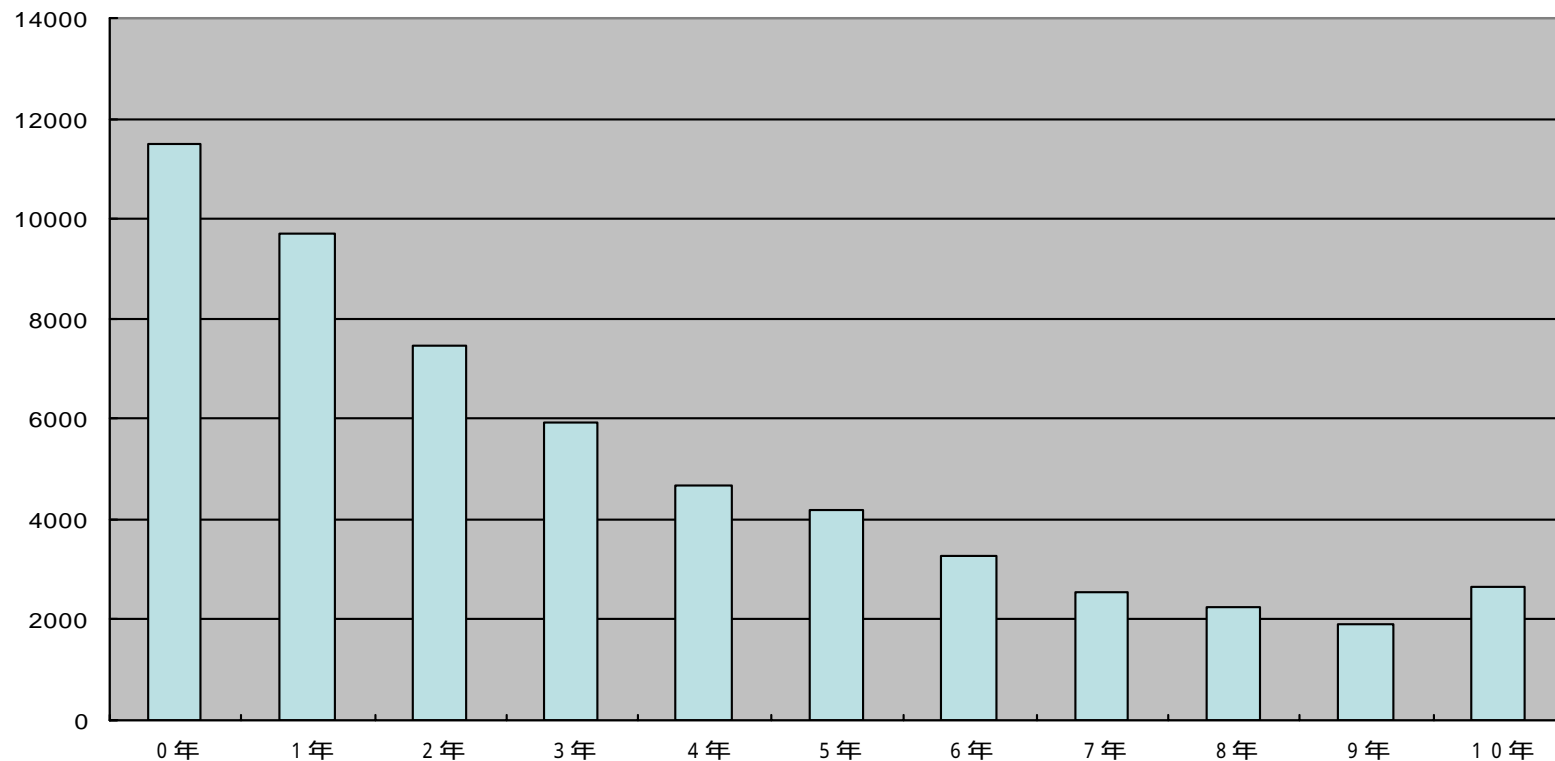
©日本看護協会 政策企画部

12	向精神約の主作用、副作用の観察、取り扱い	14.9%
13	栄養状態、体液、電解質のバランスについてのアセスメント	17.1%
14	口腔内の観察・異物除去	17.2%
15	松葉杖歩行についての指導	17.9%
16	血液ガス分析データの解釈	21.5%
17	毒薬・劇薬の取り扱い	21.6%
18	心電図(12誘導)の測定	24.2%
19	麻薬の主作用、副作用の観察、取り扱い	24.2%
20	自動・他動運動の援助	28.2%
21	症状・病態を正確に観察	28.5%
22	気道確保	29.0%
23	24時間持続心電図モニターの管理	29.1%

# ヒヤリハット事例における 経験3年未満の割合32.3%

「医療安全対策ネットワーク整備事業(ヒヤリハット事例収集事業)」

## ヒヤリハット当事者の職種経験年数



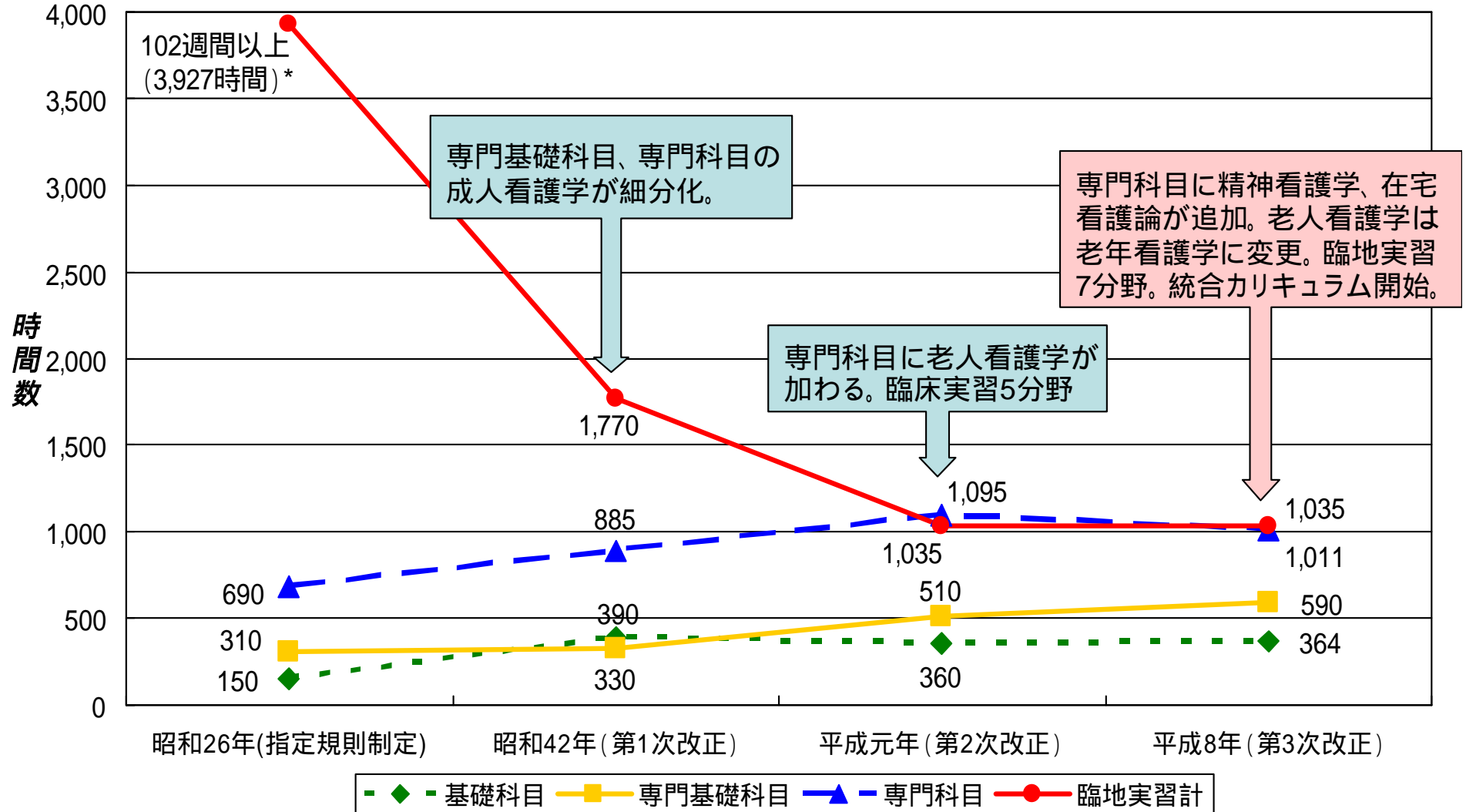
# チーム医療の観点からみると…

看護師は医療法上、医師、歯科医師、薬剤師とともに、医療従事者として併記されている職種である。しかしながら、

**他の医療職種の教育が充実する中  
看護の基礎教育だけが50年以上変化していない  
だからこそ看護師基礎教育の年限延長が必要**

- － 医師：医学教育6年 + 卒後臨床研修2年、計8年
- － 歯科医師：教育6年 + 卒後臨床研修1年、計7年
- － 薬剤師：教育4年 + 専門教育2年、計6年

# 看護師3年課程教育時間の推移



- 平成8年より単位制が採用された。実習は1単位 = 45時間として算出。(保健師助産師看護師学校養成所指定規則より)
- \*昭和26年の実習時間は、週38.5時間 × 102週間以上(病棟実習82週以上、外来実習20週以上の計)より換算

# アジアにおける看護教育

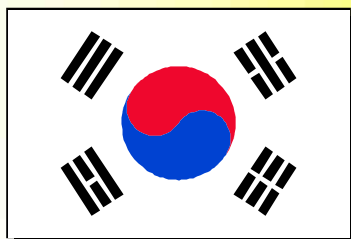
## フィリピン

すでに大学4年制を実現



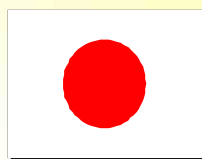
## 韓国

大学4年制化に向け整備中



## タイ

100%の学校を4年制大学へ



日本はどうか？

# 看護師の基礎教育の見直しを

看護の基礎教育は50年以上変化していない

現状の医療に対応するには  
3年間の教育期間では不足している

看護師の基礎教育について  
基本的な技術修得のためにも  
4年制への教育期間の延長を  
視野に入れて見直すことが必要

# 新卒看護職員の臨床研修の制度化を

## 新人看護職員教育を 病院の自主努力に任せておくことはすでに限界

- 病院では看護部が中心となって、新人育成のために、医療・看護の安全に関する研修の実施(90.7%)、プリセプター制導入(85.6%)、看護技術実地指導者の配置(37.5%)、年度当初の一時的看護要員配置増(22.9%)などの対策をとっている(本会2004年「新卒看護職員の早期離職等実態調査」)。
- 医療が高度化、複雑化し、在院日数が短縮化して看護業務の密度が高まる中、新卒看護職員の育成を病院の努力だけに頼ることは限界にきている。